

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中!

「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

目的意識を共有できそうな仲間が集ってみました!

取組例

01

お寺を舞台にした活動を展開する者同士、「お寺の未来」を語ってみよう!

観光

歴史・文化

子育て環境

第一回目のテーマは「お寺」。宗教施設ではありますが、京都のまちを構成する貴重な文化的かつ景観的資源の一つである「お寺」の可能性が、若者を中心に見直され始めているのを感じます。しかし取組テーマや立場によって、その可能性の捉え方はさまざまにありそうだ、ということでは有志が集まることになりました。

取組中

お宝 No.247 宗教都市・京都で、お寺・若手僧侶をフルに使いたおす!

お宝 No.317 お寺まるごと美術館

お宝 No.319 お寺を活用し、子どもとその家族がイキイキ生活できる場所をつくる!

第1回

お寺
サミット

2019/03/18(月) 19:00-21:00

@職員会館かものがわ第6会議室



▼立場の違いから気づける発見

思いを同じくしながら、立場の違うメンバーによる議論が実現。「お寺の可能性」について白熱した意見交換が行われました。

やりとりを通じて「お寺の魅力がそんなところにあったのか」と気づけたり、「自分もつネットワークに活動を紹介します」「お手伝いします」という協力が生まれたり。

「お寺の活用を通じて、より暮らしやすいまちにしていこう、京都のまちを盛り上げていこう」という機運が、それぞれの活動を支えあうことで高まっていきそうな予感のする会になりました。これからの活動展開が楽しみです。



▼お寺の役割

- ・昨今「“やってはいけないこと”を教える」傾向にあるが、そのことも「生きづらさ」を生んでいるのではないか。
- ・「生きづらさ」を救う場づくりが目指すところになりうる?

▼お坊さんとアーティスト

- ・「一つのことをつきつめる」姿勢は、互いに共感できそう。
- ・「既存概念の破壊」を恐れないアーティストの感性を、子どもの「可能性を伸ばす」教育に活かせるかも。

▼お寺の空間的特徴

- ・「門をくぐれば異空間」
- ・やんちゃな子どもでも、自然と落ち着く?
- ・死を意識すると行きたくない場所?

▼お寺と人のかかわり

- ・お坊さんって、結構「いい言葉(心に響く言葉)」を持っている。
- ・一般の大人は、個人の主観で物を言うけれど、お坊さんは、「お釈迦様は…」など、第三者の言葉として伝えることができる立場にある。

▼今回の試みに至った経緯

お宝バンクは、現在300件を超えるさまざまなご提案をいただけるようになり、問題意識が近い取組を一つ一つご紹介できる機会も増えてきました。一方で、もう少し複数で意見交換することで、得られるヒントやつながりができるのではないかと、個の力だけではできなかったことで、群になると可能性が見えてくることもあるのではないかと感じ、このたび類似テーマの集いを企画したところ、好意的な賛同があり実現しました。

実際、①助け合える(マンパワー、イベント機会、アイデアのシェアなど)、②力になる(複数集まることで、機運を高められるなど)、③刺激し合える(お互いの活動からの学び合い、強みの出し合い、弱みのカバーなど)様子も見られ、こうした集いから、お宝バンクの提案者同士の協力やサポートが自律的に生まれる流れが期待できそうです。

今年度も、例えば・・・「教育」「食」「福祉」などのテーマでの集まりも企画する予定です。
「こんなテーマで集ってみたい!」などのご希望があれば、ぜひご連絡ください!

